

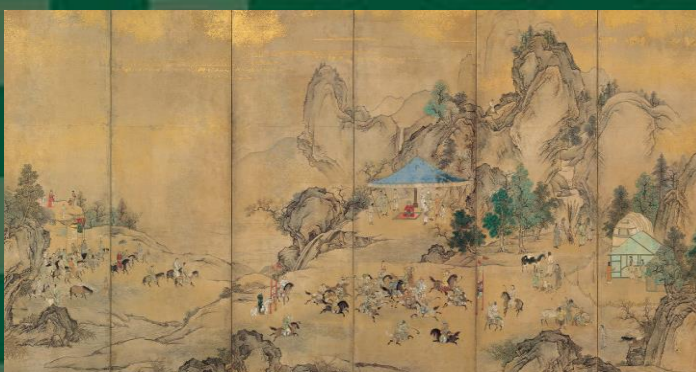
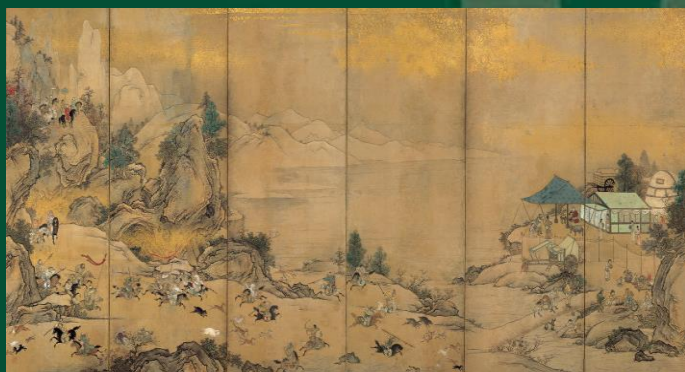
テーマ展 豪華絢爛 屏風の美

2 / 17 (金) ~ 3 / 20 (月・祝) 開催 2 / 27 (月) 休館

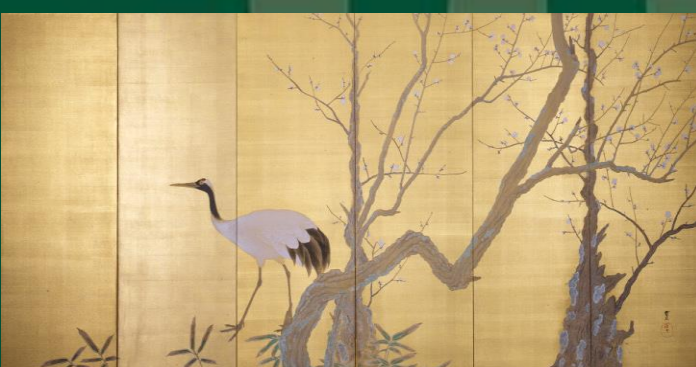
屏風の用途は儀礼用・間仕切り用から鑑賞用になっていき、明治以降は展示用の大画面形式の役割に特化していきます。本展では、ダイナミックな画面構成、金箔や金砂子などの装飾について、豪華絢爛な屏風の美を紹介します。



下村観山「寿星」大正4年頃、絹本著色、六曲一双、(各)168.0×370.2cm



狩野興以「韃靼人狩獵図屏風」江戸時代、紙本著色、六曲一双、(各)150.8×348.0cm



木村武山「林和靖」大正10~13年頃、絹本金地著色、六曲一双、(各)168.1×369.6cm

福井県立美術館

福井市文京3-16-1
TEL0776-25-0452
(県立藤島高校前)

《 観覧料 》

一般・大学：100円

70歳以上、高校以下 等：無料